

将来どんな人生を送りたいかを考えよう

氏名：齋藤 久美子

学校名：高島町立高島中学校

担当教科：英語

実践教科：道徳

時間数：5時間

対象学年：3学年

人数：31名

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標：

フィリピンで働く方々や置賜地区在住の方々の話を聞いて、自分の現状を見つめながら将来の人生について考えることができる。

【2】 単元の 評価規準例	(ア) 関心・意欲・態度	・自分や仲間の考えをグループで積極的に共有しようとする。 ・フィリピンについて意欲的に知ろうとする。
	(イ) 思考・判断・表現	・自分について振り返りながら、自分が将来どんな人生を送りたいか考えている。
	(ウ) 技能	・自分について振り返りながら、自分が将来どんな人生を送りたいか考え、それを言葉に表すことができる。
	(エ) 知識・理解	・様々な人生のあり方があることを理解する。 ・同じ世界に住む様々な人たちについて知る。

【3】

単元設定の理由
(児童/生徒観、
教材観、指導観)

【教材観】

道徳の内容項目1－(3)に「自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。」とある。また、1－(4)に「より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。」ともある。本単元では、様々な方々の人生や考え方に触れることで、視野を広げ、自分を見つめながら自分の将来についてさらに深く考えさせることを目的としている。また、そのように自分の目標を掲げさせ、自分はこれからどう行動していくべきかまで考えさせたい。

私自身が教師海外研修でフィリピンに行って見て聞いてきたこと、出会った人たちの紹介を教材にすると共に、置賜地区在住の方の講演を聞くことを教材にする。様々な方々の話を聞いたり、様々な方々と出会ったりすることで、自分との違いや共通点に気付きながら、将来自分がどんな人生を送りたいかを考えさせることを大切にしたい。

【生徒観】

担任をしている3年3組は、男子15名、女子16名の計31名が在籍している。昨年からの担任をしているクラスであるが、明るく人なつっこい生徒がいる反面、人とかかわりが苦手な内にこもるようなタイプの生徒も多いと感じている。自分の思いや考えを文章にしたり、素直に伝えたりすることができる生徒もいる反面、それを苦手としている生徒の

方が多いと感じている。グループ活動では、授業での教え合う姿など、和気あいあいと話す雰囲気はある。 総合的な学習の時間を通して、「ドリームマップ」という自分の将来の夢について考え、具体的に書く活動を3年間行ってきた。しかし、考えたり書いたりする様子を見ると、明確な夢を持って書いている生徒もいるが、時間が限られているためなんとなく書くしかない生徒もいた。明確な夢を持っている生徒の中にも、親や親戚などがその職業についているからという理由でその職業を選んでいる生徒もいた。 【指導観】 様々な方々の話を聞いたり、様々な方々との出会いを通して、少しでも今までとは違う発見から自分の将来を考え直したり、考えを広げさせたい。また、そのために自分はこれからどんな努力をしていくべきなのか、どう乗り越えていくべきなのかを考え、対話を通してさらにその考えを広げてほしい。 そのために、以下の手立てをとる。 ●学習形態の工夫 ・映像を見たり、話を聞いたりする場面が多いため、毎回必ずメモを取らせる。 - 長い文章ではなく、印象的な言葉をメモさせるようにする。 ⇒ 自分の将来について考えさせる時のネタになる。 ・考える時はまず個人で書かせ、一人で考えをまとめさせる。 - また、その後グループで共有したり、対話を通して考えを深めさせる時間を設ける。			
【4】展開計画（全 5 時間）			
時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	「幸せってなに？」 ○幸せとはなにか、今の自分を振り返りながらフィリピンの人たちと比較して改めて考えさせる。	・事前に自分にとっての「幸せとは何か」「将来どんな人生を送りたいか」アンケートを実施。 ・グループで「幸せとは何か」を共有。 →全体でも共有し、多い考えに気付かせる。 ・フィリピンの人たちにとって「幸せとは何か」の動画を見る。 ・気付いたことをワークシートに個人で記入。その後、グループでどんなことをメモしたか共有する。 ・今日の授業を受けての振り返りを書く。	・ワークシート 【資料1】 ・動画 ・テレビ

2 3	置賜地域の先人から学ぶ ・ 茂木栄子さん ・ 千葉陽平さん ○置賜地区という身近な存在の方の生き方を聞き、改めて人生についての大切なことを学ばせる。 ○できるだけ様々な方の話に触れさせ、視野を広げさせる。	・ 茂木さんがなぜ世界を旅しようと思ったかや、中学生に伝えたいメッセージをお話していただいた。 ・ 千葉さんは、なぜ農業を始めることになったか、今自分が取り組んでいることについて等話していただいた。	・ ワークシート【資料2】【資料3】 ・ BGM ・ プロジェクター
			
	茂木栄子さんの講演の様子	千葉陽平さんの講演の様子	
4	フィリピンで活躍する人たちから学ぶ ・ 浅田恵理さん (JICA フィリピン事務所) ・ 中村八千代さん (特定非営利活動法人 ユニカセ・ジャパン) ・ 小林さん (NGO LOOB) ・ 認定 NPO 法人アイキャン ・ 青年海外協力隊の3名 ○フィリピンの陰と陽の部分を、写真を通して知る。 ○私が出会ったフィリピンで働く人たちの生き方や考え方に触れさせ、さらに視野を広げさせる。	・ フィリピンからた ・ 浅田さんの紹介。 ・ 浅田さんの動画を見る。 ⇒フィリピンでのスタディツアーをきっかけに今の人生がある。 ・ フィリピンの陰の部分支援している3名の方を軽く紹介する。 ・ 青年海外協力隊の3名を軽く紹介し、中学生へのメッセージ動画を見る。 ・ 印象に残った言葉や表現は、各自メモを取るよう指示しておく。 ・ 今日の感想を記入。	・ フィリピンからた【資料①】 ・ 動画 ・ パワーポイント【資料②】 ・ ワークシート【資料4】
5 本時	「将来どんな人生を送りたいか考えよう」 ○今まで学んできたことや感じたことを生かして、メモを参考に、改めて自分はどんな人生を送りたいか	・ ほめほめシャワー ・ フィリピンからた ・ 将来どんな人生を送りたいか、個人で考え書く。 ・ グループで回し読みをしながら、共有。読んだ後は一言コメントを書くことで、書いた人へのエールを送る。	・ ワークシート【資料5】 ・ フィリピンからた

	いか文章で書く。 (自分の良さや新たな自分を知りながら、改めて将来について考える。) ○一言コメントやアドバイスを通して、お互い認め合ったり励まし合ったりしながら自分の目標に向かうための活力にする。	・自分の目標のために、これから何ができるか、何をしていくべきかをグループでアドバイスし合う。	
--	---	---	--

【5】 本時の展開

過程・時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (15 分)	1. アイスブレイキング (1) 「ほめほめシャワー」 ○1 分間グループの人の良い所をほめまくる。 (2) 「フィリピンかるた」 	・展開で行う話し合い活動に向けて、相手の良さを意識させる。 ・フィリピンの陰と陽の部分が垣間見ることができる写真を用いて、フィリピンの様々な部分について振り返るとともに、これまでの活動を思い出すきっかけとする。	・ストップウォッチ ・フィリピンかるた ・パワーポイント ・テレビ
展開 (27 分)	2. 将来どんな人生を送りたいか考えよう。 ○個人で書く時間 10 分 ・今まで学んできたことや感じたことを生かして、メモを参考に、改めて自分はどんな人生を送りたいか文章で書かせる。	・今までの授業で自分が書いてきたワークシートをもう一度確認させる。(自然交流) ・机間指導をしながら、具体的に書けるように支援する。 ・箇条書きでもいいので、「こんな人になりたい」「こんな人生を送りたい」ということを明確に書かせたい。	・ワークシート ・ストップウォッチ

まとめ (8分)	○グループでシェアする時間 5分 3. 自分の目標に向かって、これから何ができるか、何をしていくべきなのかを考えよう。 ○1人につき3分程度（目安） 4. 教師の話を聞く。 5. 今日の感想を書く。	・グループの仲間の考えを読み、参考にできることは自分のワークシートに書き足すよう指示。 ・一言コメントを書いて、回し読みをするようにする。 ・グループで一人ひとりについて何ができるか、何をしていくべきなのかを話し合う。その人の良さや頑張っているところを認めながら、アドバイスし合えるようにする。 ・自分がフィリピンに行った理由や今自分の人生についてどう考えているかを話す。	
---------------------	--	---	--

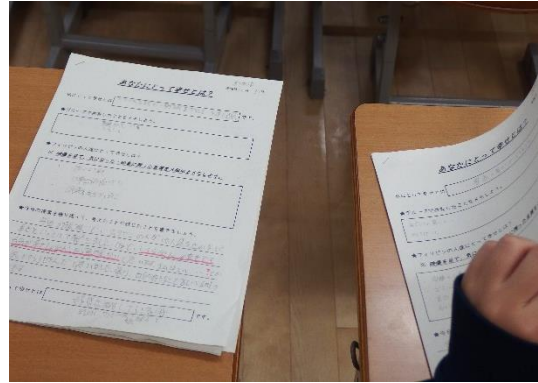
【授業実践の様子】

1. アイスブレイキングの場面（フィリピンかるた）



2. 将来どんな人生を送りたいか考えよう

○個人で書く場面〔今まで書いてきたワークシートを見て、思い出しながら書く〕



○グループでシェアする場面〔一言コメントを書きながら回し読みをする〕



3. 自分の目標に向かって、これから何ができるかを話し合う場面





【6】 本時の評価

《良かった点》

- ・アイスブレイクで「ほめほめシャワー」をしたことで、お互いを肯定し合う温かい雰囲気を作ることができた。
- ・「フィリピンかるた」をするのは本時が2回目だったが、1回目よりさらなる盛り上がりを見せた。子供たちは「かるた」というゲーム感覚でフィリピンの陰と陽の部分の部分を少しでも子供たちに伝えることができたのは良かった。
- ・将来どんな人生を送りたいと子供たちが書くのか正直不安しかったが、実際に書いている子供たちは本当に真剣で、今まで様々な人の話を聞いて子供たちの心が動かされたのだと実感することができた。
- ・グループでシェアする際に、一言コメントを書きながら回し読みをする手立てをとったが、じっくり仲間の文章を読む姿や、一生懸命温かいコメントを書く姿には驚かされた。そのコメントが、子供たちを励ます良い材料になったようだ。
- ・これから何をすべきかアドバイスし合う場面では、相手を否定したりバカにしたりすることなく、温かい雰囲気の中で話し合っている様子が見られた。ある班では、意気投合して握手している場面も見られた。

《改善点》

- ・時間が足りず、教師の話をする時間や感想を書く時間が不十分で終わってしまった。個人で書く時間やグループでシェアする時間は、予想の段階でもっと余裕をもって取るべきだった。また、アイスブレイクの時間をもう少し減らし、説明の時間をもっと短縮できたら良かった。
- ・今までの授業で自分が感じてきたことや学んできたことを振り返る場面で、ワークシートが本来なら4枚あるはずが、枚数が少ない生徒がいたり、メモしている内容が少ない生徒がいたりして、振り返りに差が見られた。予想していたため自然交流を可とし、お互いにワークシートを見合いながら書いている様子も見られたが、難しい生徒もやはりいたため、机間指導でアドバイスした。
- ・これから何をすべきかを話し合う場面で、お互い書いた内容に対して質問をし合うという手立てをとっていただければ、さらに具体性が深まったかもしれない。

例：どう役に立ちたいのか。どう努力していくのか。どうしたら笑顔にできると思うか。

なぜそう思うのか。 など

- ・生徒が書いた内容を読み返してみると、具体性に欠けるものが多いのが事実である。「人の役に立てる人になりたい」「誰かを笑顔にできる人になりたい」「喜捨できる人になりたい」。看護師であれば、例えば

どう看護師として人の役に立ちたいのか、どんな人を笑顔にしたいのか、どう努力して笑顔にできたいのか、個人で考えたりグループで話し合ったりすることで、さらに具体性が深まるはずだ。そして、具体的な自分の行動にもつながってくと思う。また、今回の学習活動計画では、最初に「幸せとは何か」を考えさせて導入として終わったが、最後にもう一度「幸せとは何か」と今回の将来の目標をリンクさせて考え直させることで、また深まりが出るのかもしれない。「どう人の役に立てれば自分は幸せなのか」を考えるのも面白いと思った。

【7】単元を通した児童生徒の反応/変化

1 時間目：幸せってなに？

私にとって幸せとは 自由に生きること です。

★今日の授業を振り返って、考えたことや感じたことを書きましょう。

今回、「幸せ」について考えて、私達日本人は、当たり前に、家族や友達と一緒に
過ごせたり、学校に通えているけれど、フィリピンの人達は、子供から、仕事したり
家族と毎日会えない人もいて驚きました。今、こうやって自由に過ご
せているのも、幸せの1つに入っていることに気がきました。

私にとって幸せとは 今は自由に生きていること です。

2 時間目：先人から人生を学ぶ～茂木栄子さん～

- 指、星がある幸也
- 生れもったれた？ 父母はど？
- お母さんと読みたい、先生と読みたい
- 自分の人だから自分で決める
- 喜持者 (トルコ) (相手が喜ばない私も喜ぶ)
- 人を表面だけで判断しない
- 何が何を好きに生きている
- 幸せになるために生きている
- 成就
- 道に迷うことは道を歩むこと
- ほんのり自分の道がわかる
- いつかは闇がさえるから怯える
- 自分をバカにしない
- ズルをしたら意識する
- 見は、はこ
- 生きようとするから 見は、はこ
- 学校に行かないのは幸也

【今日の感想】

相手が喜ばない自分も喜ぶというトルコ人の言葉に感動しました。

自分の人だから自分で決めるという茂木さんの言葉がすごく心に響きました。

自分をバカにしない、道は自分で決めるという言葉に救われた気がします。

これをきいて外国に行きたいという気が高まりました。



茂木栄子 (もぎ えいこ) さん
新潟市生まれ、福島女子短期大学卒業後、神奈川県警の警務施設に勤務。27 の歳、海外一人旅に出る。アルバイトをしながら中近東、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、インドなどの 22 か国をまわり、4 年後に帰国。新聞に紀行エッセイを執筆し、「ジャンボ」(読印書館 刊) を上梓。年間数回の講演でこどもたちに世界のありのままを伝えている。現在、飯沼町番書担任。

3 時間目：先人から人生を学ぶ～千葉陽平さん～

【今日の感想】

普通の農家さんは、機械を使って種をまくけど

楽をしようとは思わずに、田と畑それぞれの

性格を知り、良い具合に受粉をさせるために

自らの足で地を歩くのはすごい気力だと思いました。

「雑草が主役を支えてくれる」これは人の世界でも同じだと

思いました。自分や頑張ろうとしている人のそばでは影で支

けてくれる人がいるからこそ折れずに頑張ることができて

いると感じたからです。農業と人間は、よくつながって

いるのだと思いました。



愛媛県松山市出身。現在米沢市在住。無肥料無農薬の自然栽培で、そば、野菜づくりに取り組む。自家栽培蕎麦を 100% 使用した乾麺を商品化し販売。農業の出前授業として上海の日本人学校や県内外の中学校に訪問。今年オープンした「道の駅米沢」の加工施設の代表として、置賜の食材を活かしたお惣菜作りにも取り組む。

4 時間目：フィリピンで活躍する人たちから人生を学ぶ

【今日の感想】

(感動する)

ただ一言。めっちゃ泣ける話したなと思いました。
浅田さんの話して、自分はしょうもない生き方をしてい
たと言っていたのが、今、自分、過去の自分を振り返
てみると、とてもしょうもないなあって思うことが
たくさんありました。ただ、普通に生活できるだけでも
とても幸せなことなのに、それ以上の幸せを求め
うとしていた自分が、とても欲張りだな。と思いました
た。インタビューでできた、“周りを見て視野を広げる”という事
と、“自分の知らない世界を知る”という事が、今の自分に一番
必要とする事なのかなと感じました。うん



今回の授業を受けて、自分も、こんな仕事やってみたい。とか、この人達の
役に立てる仕事をした。みたいな風に思いました。

今までだと、（点張り）で看護師という夢だ、たけど、もっと色々な事に
目を向けて、自分の知識を広げて、将来は人の役に立つような
そんな仕事につきたいです。

そのために、今勉強をして、自分の学力をつけ、今日みた
映像にうつっていた人たちのように、活躍できる人になります。

【今日の感想】

4人のメッセージを聞いて、ほんとに^{のんた}か「視野を
広げた方がいい。」と言っていて、私は、今まで
よりも海外に興味を持ちました。

ビデオを見て、貧困の国とは思えないくらい、

子供たちはみんな、とてもキラキラした笑顔で

した。その笑顔は、まわりの大人たちやボランティア

活動をしている人たちに、よって守られているの

かな。と思いました。



【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

「将来どんな人生を送りたいか」ワークシートより

私が特に、心を動かされたのは、フィリピンの映像を見た時です。その映像にうつっているフィリピンの人たちは、笑顔がとても輝いてみえました。でもその輝く笑顔の裏には、光輝きはないゴミ山などが広がっていました。その映像を見た時、この人たちの役に立ちたい。何か役に立てる事は何か、探しはじめている自分がありました。フィリピンで活躍している浅田エムの話や、その他の方の話を聞いた時に、自分もこんな国な人になりたい。と強く思いました。今までは自分の周りを見、誰かの為に。と強く感じたことは、ありません。ただ、でも私は、将来、自分の今の夢の看護師となり、外国へ行き、医療の仕事で、働きたいと思いました。

【グループの仲間から一言コメント】

心後 淳 人の為、役に立てる人になるお頑張ってください
世界には、テレビではあまり放送、すごい看護師になって外国でもかっかくできようかんぱんばい、されたい表があります。 超人
裏と直接関わる姿勢は、すごいと思います。

【今日の感想】

改めて、自分の将来を考える。とても良い学習でした。自分が、どんな人になりたいか、どんな国に生きたいか、改めて考えられました。自分が思っている事を、ほかの人に聞いてもらい、アドバイスをもらったり、すぐに自分にとって、プラスにならたり、勇気をもらったりしました。1回自分の目標、夢にした事は、あきらめたことは「ないです」だから、今ある、目の前の壁を越え、自分の弱みに負けないように「やりたいです」。今回の授業で、新たな目標をみつけられました。先生、ありがとうございます。

- ・ 虐めや、苦しい環境の中にいる子供達を救う職業に就きたい。
- ・ カウンセラーや、メンタルケアなどを通して、心が傷ついている人を助けたい。
- ・ 自分の事よりも周りの事を考え、視野を広くして見る大人になりたい。
- ・ お金持ちにならなくていいから、大切な家族や友人と笑い合っ、毎日をおごせる人生を送りたい。
- ・ 日本だけでなくたくさんの世界に触れていきたい。
- ・ 夢を持ってさらに上へと行こうとする人になりたい。

私は将来、たくさんの国に行ってみたいと思います。

仕事をするようにな。てあるは、日本だけではなく、外国のちでも活動したいと思っています。

私は、メロリアットの。仕事を将来に選んでいて、自分も働く時間かなんのために、ボウニマアのような感じで、めめたうなと思っています。

【途上国・異文化への意識の変容】

（授業前）

- ・途上国という言葉聞いたことはあったようだが、ただ「貧しい＝かわいそう」というなんとなくのイメージしか持っていなかったように感じる。
- ・日本にいるのが当たり前。自分たちの生活が当たり前。
- ・英語の時間に自分の興味のある国を紹介しようという単元があったが、多くの生徒がアメリカやヨーロッパを選択していた。

（授業後）

- ・途上国の貧しさの具体例をフィリピンの事例を通して知った。（例：物乞いをする子供たち）
- ・途上国の人たちはかわいそうというイメージが、「笑顔の子供たち」「辛いこともポジティブに考えて生活している」など少しでも変えることができたようだ。
- ・フィリピンの映像を通して、自分たちの生活がいかに恵まれているか知った。授業後も日常生活において話題になることがある。
- ・会話の中でフィリピンの話が出てくる時がある。
- ・視野を広げるために、知らない世界をもっと知るために、「海外に行ってみたい」「留学したい」という生徒が増えた。
- ・海外で働きたい、英語に関する仕事に就きたい、国際関係の仕事に就きたいという生徒が出てきた。

【8】自己評価

苦勞した点	・どう学習活動を展開していけば子供たちの心を動かせるか、自分事として捉えさせられるか、とても悩んだ。フィリピンを通して伝えたいこと、考えさせたいことがたくさんあったため、焦点を絞って学習活動を仕組むことにも悩んだ。 ・「フィリピンかるた」に使用する写真の選定に迷った。フィリピンの陰と陽の部分を伝えなかったし、子供たちの興味を引きたいと思ったが、固定観念を押し付けてしまったらとも悩んだ。導入やゲーム感覚であれば使用できるが、じっくり考えさせたい場合や伝えたい場合は、やはりフォトランゲージで数枚に絞る必要があると、改めて実感した。 ・学習活動を考えたり、指導案を作成したりする上で、校内に相談できる人があまりいなかったことが正直とても苦しかった。研修でアドバイスをして頂いたり、個別に相談に乗って頂いたりしたことに感謝。
改善点	・幸せとは何かを考えさせたとき、教師の考えの押し付けにならないように気をつけた。ただ、考えを深めさせるためにはもっと理由をしっかり書かせたり、考えに対してグループで質問し合ったりする時間が必要だったと思う。 ・フィリピンで活躍する人たちの紹介をする場合は、教師側が子供たちに誰のどんなところを伝えたいのか、どんな言葉を伝えたいのかをもっと絞って紹介すべきだったと思う。 ・今回の学習活動はインプットが多く、毎回メモや感想は書かせていたものの、アウトプットとして振り返りをもっと大事にすべきだったのではないと思う。

	個々で書かせるだけでなく、グループでシェアする時間やワークショップ形式で学んだ事を整理する時間が必要だったのではないかと思います。 ・今回の学習活動は子供たちにとってきっかけづくりとはなったが、さらに具体性を持たせたり、具体的な行動につなげたりするための手立てや工夫が必要である。グループにおいてそれぞれの考えや意見に対して質問し合う時間を設けたり、将来の目標を導入の幸せとつなげてもう一度考え直させたりする。 ・SDGsを自分自身がもっと学習し、関連して学習活動を進められるようにしたい。
成果が出た点	・私自身の研修での学びを学校現場で生かすことができ、自分自身の良い経験となったことはもちろん、子供たちの心を動かすことができたのは良い成果だった。また、周りの先生方にも知ってもらえる良い機会であった。外部の方とも連携をとることができ、さらにこれからにも生かせるであろう。 ・フィリピンを通して世界の現状を子供たちが知り、そのことについて考えるきっかけとはなったと思う。 ・生徒の将来の目標や夢はこれからまた変わるかもしれないが、今回の学習を通して海外に関わるものになっている生徒がいるなど、少しでも影響を与えられたことは大変嬉しい。 ・グループでの話し合い活動が大変温かい雰囲気で行えたことは、私にとって学級の成長を知る良い機会であった。
備考（授業者による自由記述）	まず、この研修に参加する機会を与えてくださった方々、研修中お世話になり支えてくださった多くの方々に感謝したい。この研修を通して、様々な方々に出会えたことにも感謝したい。そしてこれからも大切にしていきたいと思う。 今回の経験を通して、まだまだ自分は知らないことがたくさんあり、もっと知りたいことや経験したいことがたくさんあることを改めて実感した。子供たちに世界の現状を伝えたり、地球人としてどう行動を起こしていくべきか一緒に考えたりしていくためにも、もっと自分が成長しなければならない。もっと理解を深め、経験を重ね、日本や世界の子供たちの将来に生かせるよう、自分がたくさんすることにチャレンジしていきたい。その自分の姿も、子供たちに何かしら伝わるはず。

【資料 1 : ワークシート】

第 1 回 第 1 課

あなたにとって幸せとは？

私にとって幸せとは です。

★グループで話合ったことをメモしよう。

★フィッシュの友達に話を聞いてもらおう。

※ 時間を決めて、互に合った順番に聞いたお話を交換しておきましょう。

★今日の話を振り返って、考えたことや感じたことを書きましょう。

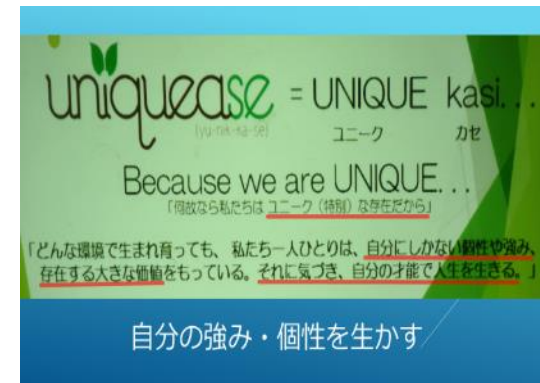
私にとって幸せとは です。

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【資料②：パワーポイントの一部】



- ▶ 大阪府吹田市出身 ⇒ 現在はフィリピン在住
- ▶ 大学3年時
学生生活を楽しむために海外旅行に行ってみた
- ▶ 普段の観光では見られない所が見られ、その国の社会背景等も深く学べる「スタディツアー」に参加
- ▶ 当時自分のバイト代でまかなえる一番安い場所が「フィリピン」行きスタディツアーだった



参考資料：

- ・学習指導要領（文部科学省）
- ・2017年度教師海外研修報告書【派遣国：フィリピン共和国】